

領域	専門分野Ⅱ	授業科目	小児看護学概論	単位 (授業時間/時間数)	1 (14/15)
開講年次	1年次	開講時期	後期	授業回数	7回
担当講師名	専任教員		講師所属	福岡水巻看護助産学校	
特記事項	実務経験のある教員による科目			臨床(病院)での看護師の実務経験をふまえて臨床に即した授業・演習を行なう	

授業のねらい

小児期は養育者や環境の影響を受けて、心身ともに成長・発達を急速に遂げる時期ということ、および将来の人格形成上重要な時ということが認識できる。そして、「嬉々として遊ぶ姿こそ子どもの本質」であることを知り、子どもも社会の一構成員であることを見据えた関わりについて考える。

授業目標

各発達期の形態的発達・機能的発達、認知・社会的発達の基本的知識を身につけるとともに、養育者との関係を理解して支援することの重要性を学ぶ。また、子どもは養育的環境で育まれる権利を有し、おとなとは同質ではないが同格の権利をもつ主体的存在であることを理解し小児看護倫理が実践できるとともに小児看護の特性を理解する。

授業概要

1. 小児看護の特徴と理念
2. 小児の成長・発達
3. 小児の栄養
4. 新生児・乳児
5. 幼児・学童
6. 思春期・青年期の小児
7. 家族の特徴とアセスメント
8. 小児と家族を取り巻く社会

【担当からのメッセージ】

あなたは子どもが好きですか？ 苦手ですか？ 近年の子どもと家族を取り巻く社会は様々な状況に置かれていることが多い。このような状況にある子どもが、最善の利益が守られ健やかに成長・発達できるよう、個々の発達段階に応じた援助を学び、子どもと家族に対する看護の役割を考えていきましょう。

授業の進め方

講義、演習

教科書

系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学〔1〕小児看護学概論・小児臨床看護総論 (医学書院)

参考図書

国民衛生の動向 (厚生統計協会)

評価方法

課題・グループワーク参加度・レポートおよび終講試験(客観時テスト)の総合評価
試験時間は時間数に含む。